

令和元年5月16日

松原市長 澤井 宏文 殿

松原市公の施設の指定管理者候補者選定委員会
委員長 太田 敏

松原市公の施設の指定管理者候補者選定にかかる審議結果について（報告）

下記施設における指定管理者候補者の選定にあたり、当委員会は、全3団体から提出された指定申出書及び事業計画書等の審査と、当委員会の下部組織である幹事会（幹事長：市民協働部長）における評価結果に係る審査を総合的に実施し、厳正な審議を行いましたので、松原市公の施設の指定管理者候補者選定委員会規則第2条第2項の規定に基づき審議結果を報告いたします。

記

○対象施設

名 称：松原市民松原図書館（新図書館）

所 管：市民協働部市民図書館

所在地：松原市田井城3丁目1番46号

○公の施設の指定管理者候補者選定委員会委員

委員長 太田 敏 (副市長 (市長公室担当))

副委員長 川西 善文 (副市長)

委員 大浦 靖久 (市長公室長)

委員 宮本 靖之 (総務部長)

委員 伊藤 輝 (教育委員会事務局教育総務部長)

委員 加藤 清孝 (阪南大学副学長)

委員 津村 庄八 (公認会計士)

○委員会の開催

第1回目	平成31年1月29日 (火)	午前10時	302会議室
第2回目	平成31年3月18日 (月)	午後3時30分	802会議室
第3回目	令和元年5月13日 (月)	午前10時	302会議室

松原市民松原図書館の指定管理者候補者選定にかかる審議報告書

1. 指定管理者申出団体

名 称 T R C松原グループ

代表者 石井 昭

所在地 東京都文京区大塚三丁目1番1号

他、団体Aおよび団体B

2. 審議内容

第1回目の委員会では、施設所管課が作成した募集要項案、基本仕様書案及び選定基準等について審議を行った。

第2回目の委員会では、第1回目で審議した内容に係る修正部分について、再度審議を行い、募集要項、基本仕様書、特記仕様書、様式集及び選定基準を策定した。

第3回目の委員会では、選定基準に基づき審査・採点を行った幹事会の評価結果について、審査・採点の適否について審議し、最終的な指定管理者候補者の選定を行った。

3. 審議結果

当委員会では、幹事会での審査・採点内容について、選定項目ごとに審議を行い、選定基準に基づいた適正な評価であることを確認した。

採点の合計としては、第1位は331.80点でT R C松原グループ（以下「T R C」という。）、第2位は団体A、第3位は団体Bという結果になり、当委員会においては、T R Cを松原市民松原図書館における指定管理者候補者として決定した。

選定項目における評価について、「ア. 応募団体に関する事項」の項目においては、T R C及び団体Bは、公共図書館における指定管理者としての実績が10以上の自治体であり高い評価となった。

「イ. 管理運営に関する基本方針」の項目においては、団体Bによる提案は、他の2団体と比較すると、基本方針に関する具体的な内容が乏しい点が低い評価となった。

「ウ. 管理運営事業計画」の項目においては、団体Aによる提案は、まつばらテラス（輝）や松原市民体育館とのコラボ提案や市内企業と積極的な連携を図るもので、かつ具体的な提案であったため高い評価となった。また、T R C

による提案は、事業目標として「実利用者の増加」を掲げ、これを達成するためのターゲットを中学生から大学生と子育てを終えた世代に明確にしている点等が高い評価となった。

「オ. 利用者サービスの向上」の項目においては、TRCによる提案は数値目標を実現するための方策として、ターゲットを明確に設定し、SNSの活用、マスコミへの積極的な情報発信など従来の公共施設中心のPR以外の手法による利用者獲得の手法に加え、独自の物流システムを活用し、新刊購入のスピードアップなど、利用サービスを向上させるための迅速で柔軟性のある対応が期待できる点が高い評価となった。

「カ. 維持管理経費」の項目においては、TRCの提案による指定管理料が最も安価となっており高い評価となった。また、団体Aによる提案は、建物の維持管理に係る経費が最も安価となっており高い評価となった。

「ク. 新図書館の開館準備等業務」の項目においては、TRCによる選書から納品まで一貫したシステムを活用した発注作業に係る提案が高い評価となった。また、団体Aによる個人貸出用タブレットのセキュリティーやAIを活用した本の検索に係る提案方法について高い評価となった。